

関空島

# WEATHER REPORT

6月号  
2023年

ご利用の前に  
かんくうじまウエザーレポート  
関空島 WEATHER REPORTの内容には、航空気象で利用する用語や、観測で使用する機器及びその設置場所等の略語がでできます。これらの解説を巻末に掲載していますので適宜ご利用ください。

## 関空島の5月の気象

### 天気概況

高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、湿った空気や前線の影響により雨の降る日もありました。

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、期間の中頃は湿った空気や前線の影響で雨の降る日もありました。

中旬：天気は数日の周期で変わりました。高気圧に覆われて晴れの日もありましたが、湿った空気や前線の影響で雨の降る日が多くなりました。

下旬：天気は数日の周期で変わりました。高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、湿った空気や前線の影響で雨の降った日もありました。

### 特徴的な日

5日は、高気圧の縁をまわる風の影響で、低層ウィンドシアアの通報が1件ありました。

6日から8日にかけて前線や低気圧の影響で雨が降り、8日はVISが1900mまで悪化し、CIGが400ftまで低下しました。また、7日は気圧の傾きが大きくなり、最大風速31ktの南南西の風、最大瞬間風速44ktの南の風を観測しました。

13日から15日にかけては湿った空気と上空の寒気の影響で雨が降り、15日はCIGが1300ftまで低下しました。

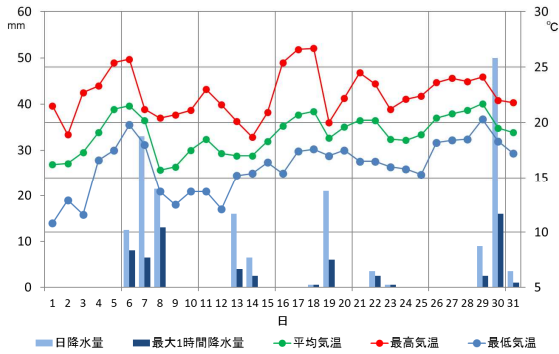
18日から19日にかけては気圧の谷や湿った空気の影響で雨が降りVISが2000mまで悪化しました。

22日から23日にかけては気圧の谷や湿った空気の影響で雨が降り、23日はCIGが1400ftまで低下しました。

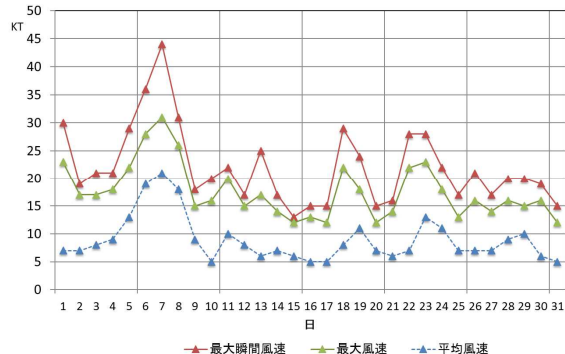
29日から31日にかけては梅雨前線の影響で雨が降り、30日はVISが800mまで悪化し、CIGが100ft未満まで低下しました。

なお、近畿地方は29日ごろに梅雨入りしたと見られ、平年より8日早く、昨年より16日早い梅雨入りとなりました。(梅雨の時期は、後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討が行われ、その結果変更となる場合があります。)

《気温》月平均気温は18.9℃（平年19.1℃、5月の高い方から8位を更新）でした。日最高気温は、18日が最も高く26.7℃を観測しました。日最低気温は、1日が最も低く10.8℃を観測しました。日最低気温が高いのは29日で20.3℃（5月の最低気温の高いほうから5位を更新）でした（第1図）。



第1図 2023年5月の日別気温・降水量

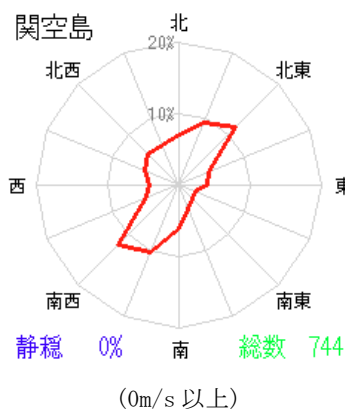


第2図 2023年5月の日別風速

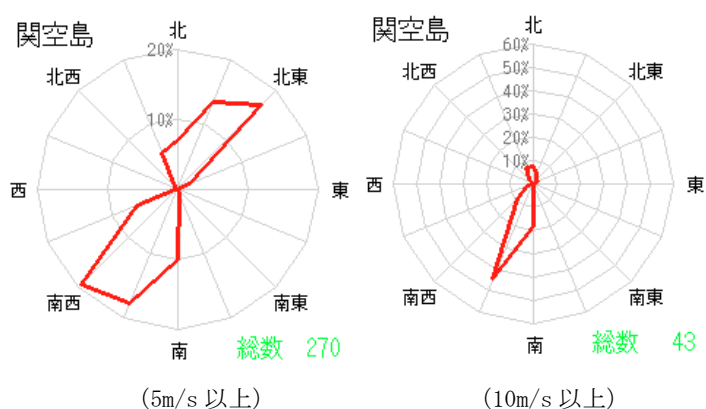
《降水量》月降水量は177.5mm（平年122.1mm、5月の多い方から5位を更新）でした。日降水量の最大は30日に50.0mm（5月の多い方から5位を更新）を観測しました。1時間降水量の最大は30日に16.0mm（5月の多い方から8位を更新）を観測しました（第1図）。10分間降水量の最大は30日に4.0mmを観測しました。

《風》日最大風速が15kt以上の日数が22日、そのうち20kt以上の日数が9日でした。日最大風速の最大は7日の南南西の風31kt（5月の9位を更新）、日最大瞬間風速の最大は7日の南の風44kt（5月の5位を更新）でした（第2図）。

《風配図》10分間平均風向風速を1時間毎に風向及び風速別で集計し、各方位の頻度を表した図です。月全体では北東と南西の風が多くなっています（第3図）。風速階級別では、5m/s以上（約10kt以上）は南西、10m/s以上（約20kt以上）は南南西の風を多く観測しています（第4図）。



第3図 5月の風配図



第4図 5月の風速階級別風配図

《極値・順位値の更新》5月の極値と順位値の更新状況を第1表に示します。表において、橙色のセルが今月の順位値を更新した記録です。

第1表 関空島の5月の極値

要素名/順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
日降水量 (mm)	153.0 (2011/5/29)	109.5 (2018/5/13)	101.0 (2004/5/13)	56.5 (2018/5/7)	50.0 (2023/5/30)	50.0 (2008/5/14)	48.0 (2019/5/21)	46.5 (2015/5/12)	46.0 (2007/5/6)	40.0 (2008/5/24)
日最大1時間降水量 (mm)	76.0 (2004/5/13)	29.5 (2019/5/21)	29.5 (2018/5/13)	29.0 (2008/5/25)	24.5 (2008/5/14)	19.5 (2011/5/29)	18.0 (2021/5/20)	16.0 (2023/5/30)	16.0 (2016/5/16)	15.5 (2018/5/19)
月降水量の多い方から (mm)	340.0 (2011/5)	261.0 (2004/5)	256.0 (2018/5)	225.5 (2008/5)	177.5 (2023/5)	163.5 (2021/5)	142.0 (2007/5)	138.5 (2016/5)	117.0 (2006/5)	91.0 (2010/5)
日最低気温の高い方から (℃)	21.5 (2004/5/30)	21.1 (2004/5/29)	20.7 (2015/5/29)	20.4 (2016/5/26)	20.3 (2023/5/29)	20.2 (2016/5/25)	20.2 (2004/5/28)	20.1 (2015/5/31)	20.0 (2021/5/17)	20.0 (2017/5/31)
月平均気温の高い方から (℃)	20.2 (2015/5)	20.2 (2004/5)	20.0 (2016/5)	19.9 (2017/5)	19.8 (2020/5)	19.6 (2019/5)	19.0 (2005/5)	18.9 (2023/5)	18.9 (2018/5)	18.9 (2003/5)
日最大風速・風向 (m/s)	21.0 南南西 (2016/5/11)	19 南南西 (2004/5/4)	17.4 西 (2018/5/4)	17.3 南南西 (2021/5/21)	17.3 南南西 (2009/5/17)	17.2 南 (2016/5/3)	17.1 南南西 (2021/5/1)	16.8 西 (2021/5/2)	16.2 南南西 (2023/5/7)	16.1 西北西 (2011/5/30)
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	26.2 南南西 (2016/5/11)	23.7 南南西 (2021/5/1)	23.7 南 (2016/5/3)	23.7 南南西 (2009/5/17)	22.6 南 (2023/5/7)	22.6 南南西 (2021/5/21)	21.6 西 (2018/5/4)	20.6 西 (2021/5/2)	20.6 南 (2019/5/27)	20.6 西北西 (2011/5/30)

統計期間：2003年5月から。ただし日最大瞬間風速・風向は2009年5月から。

なお、本レポートの文中及び極値表に用いている値は、特に断りがない限りアメダスによる統計処理を行った資料に基づき作成したものです。

## 「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について ～これまでより最大30分程度前倒しして発表します～

近畿地方は、5月29日ごろに梅雨入りしたと見られます。6月1日から3日にかけての梅雨前線による大雨では、関空島のアメダスで2日に日最大1時間降水量61.0mmを記録し、6月の1位を更新しました。

気象庁では、令和3年6月から、線状降水帯が発生し大雨による災害発生の危険度が急激に高まっていることをいち早くお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しています。迫りくる大雨災害への危機感をいち早く高めていただくため、令和5年5月25日から、これまで発表基準を実況で満たしたときに発表していた本情報を、予測技術を活用し、最大で30分程度前倒しして発表しています。

本情報が発表された際は、自治体による避難情報や、地元気象台が発表する防災気象情報、キキクル等を確認の上、崖や川の近くなど危険な場所にいる場合は安全な場所に移動するなど、適切な防災対応をお願いします。

(参考 URL)

- ・ 「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について（気象庁報道発表資料）  
[https://www.jma.go.jp/jma/press/2305/12a/20230512\\_kenchoame\\_henkou.html](https://www.jma.go.jp/jma/press/2305/12a/20230512_kenchoame_henkou.html)
- ・ キキクル  
[https://www.jma.go.jp/bosai/#area\\_type=class20s&area\\_code=2736200&pattern=rain\\_level](https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=2736200&pattern=rain_level)
- ・ 令和5年6月1日から3日にかけての梅雨前線による大雨について（近畿地方、四国地方の気象速報）[PDF:4.2MB]  
[https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20230605\\_kanku.pdf](https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20230605_kanku.pdf)

—— 事務局からのお知らせ ——

< 関空島ウェザーレポートについて >

「関空島ウェザーレポート」についてのご意見・ご要望は、担当（藪内）のメールアドレス [yabuuchi@met.kishou.go.jp](mailto:yabuuchi@met.kishou.go.jp) まで、メールにてお願いします。

発行日：2023年6月19日  
発行元：関西航空地方気象台  
編集：航空気象懇談会事務局

# 関空島 WEATHER REPORT で使用する航空気象に関する用語の解説

## 1 気象観測施設の配置とデータ利用について

気象観測施設は、関空島の A-RWY(3500m)と B-RWY(4000m) 周辺に配置した屋外観測装置と、当台気象観測室(航空庁舎ペントハウス)に設置した気象観測報の作成、配信等の処理を行う屋内観測装置で構成する。

屋外観測装置からのデータは屋内観測装置に表示し、METAR-AUTO 報として 10 分毎に自動配信するとともに、屋上で行う目視による観測とあわせて航空観測気象報(METAR 報、SPECI 報)で配信する。

また、日本時間の 23 時 00 分～翌日 05 時 59 分の間は、全要素とも自動観測・自動判別結果を用いた METAR/SPECI 報(以下「自動 METAR/SPECI 報」という。)を通報する。自動 METAR/SPECI 報で通報する視程や雲、現在天気は目視観測とは異なる特性・特徴を持っている。

航空観測気象報で通報する風は「06L」の観測値である。障害等で「06L」が使用できない時は「06R、24R、24L」の順に代用して通報し、RMK に使用した風向風速計名を記載する。(例: WIND BY EQPT/06R)

## 2 本文中で使用する語句の定義等

VIS: 全周を見渡して半分またはそれ以上の範囲で共通した視程(卓越視程)を(m)で表す。なお、自動通報時間帯については、RWY06L の滑走路視距離観測装置で自動観測した値である。

CIG: 雲量が 5/8 以上の雲層のうち、一番低い雲層の雲底の高さを(ft)で表す。

RVR: 滑走路視距離観測装置で観測した滑走路視距離を(m)で表す。

風: RWY06L に設置した観測装置の値(関西国際空港の代表風)を、風向を真方位(°)で風速を(kt)で表す。

風配図は、RWY 06L の、正時から 1 時間毎の 10 分間平均風を、月毎の風向別に百分率で表す。

Calm(静穏)は、10 分間平均風速の値が 0.4kt(0.2m/s)以下の場合をいう。

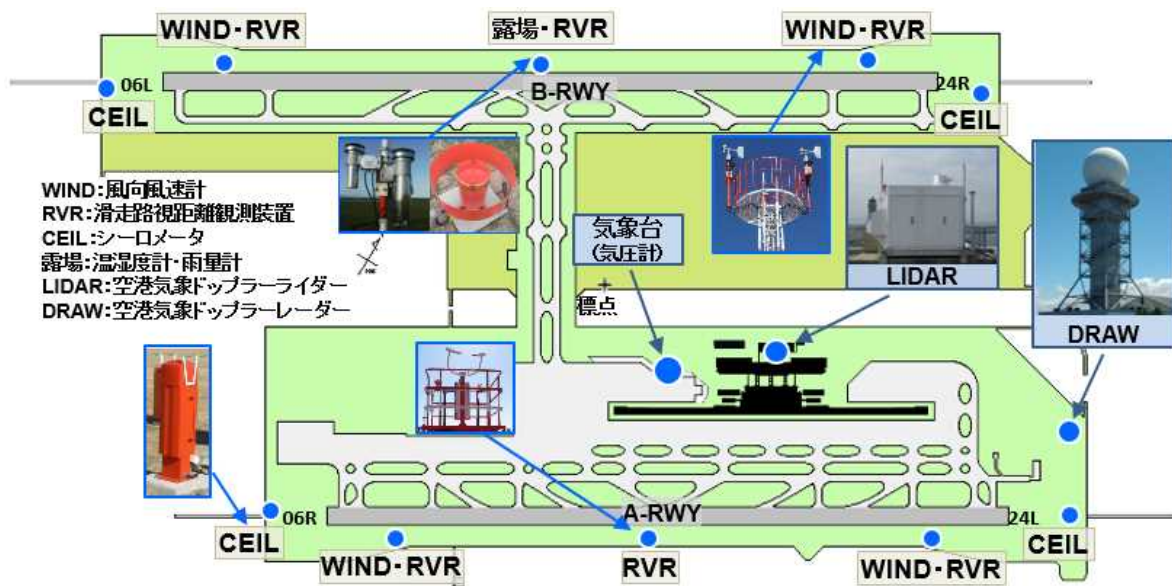
ガストは、平均風速を 10kt 以上上回る最大瞬間風速があった場合に報じられる。

ウィンドシアア: 鉛直方向又は水平方向の風速や風向の差をいう。ウィンドシアアのうち、観測された高度が 1600ft 以下(もしくは 1600ft をまたぐ高度)の場合は低層ウィンドシアアとする。

平年値: アメダスの関空島地域気象観測所として算出した平年値を使用している。

関空島の統計期間は、2003-2020 年

(ただし、日最大 10 分間降水量及び日最大瞬間風速は 2009 年から)。



関空島内の気象観測機器配置状況